

藤の樹工房の皆さん



高島市交通安全協会マキノ支部

社会福祉法人たかしま会「藤の樹工房」には、毎日20数名の障害者が通所しておられます。今回は藤の樹工房の看板商品であるよもぎ風呂の素「藤美人の湯」を取材させていただきました。

市内各所から刈り集めた天然よもぎを機械で粉碎・乾燥させ、通所者と職員が協力し合って袋詰め・計量を経て完成となります。

製品は、市内各所の道の駅で販売していますが、「温まる」「冷え対策に良い」「肌荒れが好転した」という口コミから、早期に完売することもあり、最近では遠方の方が購入されることも増えてくるそうです。悩みの種は原材料の確保ということ、

交通事故の撲滅は市民すべての心からの願いです。高島市交通安全協会では年間を通して様々な啓発活動に取り組まれています。

6月18日には、マキノ地域で活動するマキノ支部の総会が開催され、冒頭、高島警察署交通課から、最近の交通事故の事例をもとに事故の原因や注意点などを学ぶとともに、事故で大切な身内を亡くされた方の手記を通して、いつ被害者になるか予測できない事故の恐ろしさを改めて心に刻まれたところ、

県警本部の交通事故統計データによると、高齢者が関係する事故が他市と比較しても高い割合を占めています。これを受けて、命の尊さと事故の悲惨さを深く認識し、安全で快適な交通社会の実現

現在よもぎの群生地を探しておられます。

マキノ地域で生産された「藤美人の湯」が、多くの方に癒しのひと時を与えてくれています。



に向け、年間の事業計画が定められました。

啓発活動を通して、住民一人ひとりが交通ルールを遵守し、安全に暮らせる地域社会になるよう願っています。